

第 15 回議会報告会 報告書

地域名	出合地域		
年月日	平成 29 年 4 月 21 日 (金)	会場名	出合コミュニティスポーツセンター
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 05 分
参加数	男性 24 人	女性 2 人	合計 26 人
班 長	植村 和好	司会者	植村 和好
報告者	田中 久一	書 記	勝地 貞一
班員名	植村 和好、田中 久一、勝地 貞一、津崎 和男		
	市 民	対 応	
報告に対する質疑	<p>①やぶパートナーズ(株)について、株式会社になぜ 600 万円の公金を出すのか。民間では考えられない。社長は養父市に骨をうずめることが必要である。今後、どのくらいの熱意と覚悟を持って会社経営をするのか。報酬はどうなっているのか。</p> <p>②6次産業化の事業展開はどうか。投資効果はあるのか。</p>	<p>①一般会計予算に 2,400 万円を経営委託料として計上されたが、付託された予算特別委員会では、2,400 万円全額を減額し、予備費に充当する修正案が可決された。本会議では、2,400 万円から 1,800 万円を減額して 600 万円とする修正動議が提出され、可決した。</p> <p>経営が成り立たない状況であるが、企業創出の相談や、農業特区事業推進には必要な業務を担っている。会社の収支状況など実情が把握できない経緯があり、3カ月の期日を設け、経営方針を示す必要があるとの指摘をしている。社長の今後については把握していないし、報酬は出ていない。</p> <p>②3月30日に旧建屋小学校で、6次産業化支援センターの竣工式があった。やぶパートナーズ(株)が指定管理を受けている。現在、2社の申し込みがある。</p>	
意見交換会での質疑	<p>①高齢化による運転免許証の返納が増加している。時間的にバスに乗れない高齢者には何が必要か。市民が望むところは何か。</p> <p>②若者の定住には職場の確保、所得向上等が最大の課題である。この地域には観光(スキー場)産業はあるが、期間が限定され生活にはなじまない。</p>	<p>①規制緩和によるライドシェア導入を市として提案していたが、関係団体から反対があり、今後の対応を検討中である。過疎地の課題としてお聞きした。</p> <p>②議会全体としては手詰まり状態である。生活手段を模索し考えていくことになる。</p>	

市 民		対 応
意見交換会での質疑	③農業特区で養父市の知名度は上がったが、全体として効果はない。また、合併してよくなったところはない。八鹿病院の問題もしかり、議会はしっかりしないとだめである。よいことは言うが現実味がない。議員は施策を打ち出すくらいの頑張りが必要である。	③検討課題とする。
その他（提言など）	①農業で生計を立てるのは無理である。若者の働き口の確保が望まれる。行政と民間企業との接点がなく、新卒者採用を募集するが人が集まらない。企業の意見を聞き検討してほしい。	①今後の課題とする。
備考 なし		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

平成 29 年 5 月 10 日

報告者 4 班 班長 植村 和好

